

次は科学作品展

9月に入り、朝夕がほんの少し過ごしやすくなってきました。

今年の桜山公園祭り「科学の屋台村」では、姫路科学館友の会から久しぶりにブースを出すことができました。たくさんのご参加、ありがとうございました。またブースを出店するにあたり、多大なご協力を頂きました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

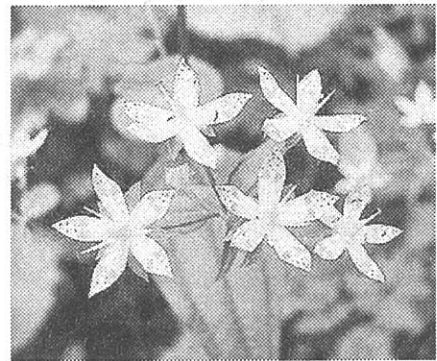
(友の会会長 上田倫範)



花の歳時記 「アケボノソウ」(リンドウ科)

北海道から九州にかけての山地の林縁や草地等の湿った場所に生える2年草です。葉は対生し、茎には4稜があり、直立します。9～10月頃に花卉の中央に2個の緑色の斑点、その先に細かな黒紫色の点が多数ある白色の花を咲かせます。この緑色の斑点は蜜腺で、黒紫色の点は昆虫に蜜腺の位置を知らせる目印(ガイドマーク)になっているようです。

花の色を明け方の空の色に、花冠に散らばる細かい斑点模様を暁の星に見立てて、曙草(あけぼのそう)と名が付けました。



(友の会理事 古角孝之)

館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和6年9月

連続猛暑日が最長記録を更新した今年の夏。来年はまた、新記録が出そうなほど異常な天気が続いています。例年稲に穂が実るのを田んぼ近くの民家の屋根で待ち構えていたスズメも姿がありません。8月を過ぎて姫路に接近するような台風が無いのは幸いなのですが、これも異常気象が原因でしょうか。

この異常な暑さにも関わらず、科学館に沢山ご来館頂き感謝申し上げます。

後半も各種講座やイベントを予定しており、まず9月から、児童生徒科学作品展「科学工作の部」や「調査研究の部」の優秀作品を展示しますので、児童生徒の力作をぜひ見に来て下さい！

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

【目次】

- [P1] 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)、花の歳時記(友の会理事 古角孝之)、館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)
- [P2] ヤマガラ通信(西播愛鳥会・日本野鳥の会会員、元姫路科学館専門員 森田俊司)
- [P3] 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)、「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)
- [P4] 南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博)
- [P5] Starry Night Story(姫路科学館 中島輝久)
- [P6] 科学のタネ(姫路科学館 学芸・普及担当 宮下直也)、よしだ君の話(姫路科学館 自然史専門員 吉田航希)